

西脇知事の初めての予算編成

西脇知事の初めての予算編成は、①子育て環境日本一への挑戦、②京都力を活かした文化・スポーツ・観光振興、③京の産業の新展開、④暮らしの安心・安全の向上、⑤未来を拓くまちづくり、という五本の柱が掲げられました。

また、防災・減災対策の充実・強化のための「危機管理部」の新設、ならびに府民生活部と環境部を再編して新たに「府民環境部」が設置されました。

その他、府民ニーズに即した事業、約96億円の行財政改革、キャッシュレス納税の推進など、府民サービスの向上と効率的な事業実施のための予算が議決されました。

総額9,040億200万円の概要

(平成30年度2月補正・平成31年度当初予算の14か月予算総額)

子育て日本一

子育てに優しい職場づくり	1億3,200万円
仕事と育児両立体験	1,300万円
発達障がい者支援体制整備	1億1,300万円
京都子育て支援医療助成	22億600万円
不妊治療給付等	3億500万円

文化・スポーツ・観光

宇治茶ブランド世界発信	1,200万円
京のアスリート育成・強化総合支援	2億4,500万円
「京都観光交流圏」形成・拡大	5億9,900万円

産業

次世代人材育成・産業創造	1億2,100万円
スマート農林水産	2億1,200万円
消費税対応中小企業あんしん経営	40億4,700万円

暮らし安心安全

きょうと健康長寿データヘルス推進	6,900万円
京都府介護・福祉人材確保	3億3,900万円
水害等住民避難行動促進	2,200万円
森林災害防止	30億8,000万円

未来

京都舞鶴港物流基盤重点整備	1億6,500万円
---------------	-----------

京都府南部地域の交通の利便性向上について

観光地の京都市、奈良市の中間である府南部地域は、平成35年の新名神高速道路の開通に伴う利便性の向上により経済波及効果が期待できます。また、防災的観点からも頻発する集中豪雨や台風により通行止めが発生し交通機能が麻痺するなど、早急な整備が求められる中、観光と経済効果、防災を兼ね備えた道路環境整備が必要です。

そして、京都府南部の市町村は、京都府南部のさらなる発展のために国に対し、JR片町線、JR奈良線の複線化を強く要望されています。そこで、京都府に対しても、京都府南部の鉄道ネットワークの整備に関して、これからも府民の声を府政に届け積極的に整備を行っていきます。



北川たかし事務所に、お気軽にお立ち寄りください
皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office

〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F
TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601

✉ office@kitagawatakashi.net

🌐 http://www.kitagawatakashi.net



京都府議会議員

〈京田辺市・綴喜郡 選出〉

Takashi Kitagawa Activities Report

北川たかし

府政活動レポート

第8号

2019.03

プロフィール

京田辺市三山木生まれ／奈良育英高校 卒／大阪電気通信大学 工学部 卒／神戸大学大学院 経営学研究科 修了／元(株)富士通神戸エンジニアリング 勤務／元 流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督／元 関西大学 非常勤講師／(有)竹長 代表取締役／全日本農業会連合会 京田辺市支部 委員長／NPO法人 幸せイキイキ子ども教育研究所副代表理事／京都府議会議員
【資格】教育カウンセラー／産業カウンセラー／米国CTIコーチング(CPCC)など
【家族】妻、子ども2人 【趣味】スキューバダイビング／ラグビー

発行 北川 剛司 〒610-0313 京都府京田辺市三山木中央5丁目1-10 マンション竹長1F TEL.0774-62-7889 FAX.0774-66-4601

Greeting

ごあいさつ



桜の開花が待ち遠しい、本格的な春を感じる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、皆様から多くのご支援をいただき、京都府議会議員として活動し、まもなく4年が経とうとしています。今年の2月議会では、任期最後となる一般質問をさせていただきました。質問と答弁については、中に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

私のライフワークである「教育」については、現在『「家庭教育」支援』をテーマに調査や研究をしています。

文部科学省のホームページからの引用ですが、『家庭教育は、乳幼児期の親子のきずなの形成に始まる家族との触れ合いを通じ、[生きる力]の基礎的な資質や能力を育成するものであり、すべての教育の出発点である。(中略)とりわけ、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など [生きる力] の基礎的な資質や能力は、家庭教育に

おいてこそ培われるものとの認識に立ち、親がその責任を十分発揮することを望みたい。』とあります。

家庭教育が充実すると、子どもたちに、自立心や社会性、生活習慣や規律教育などの効果が現れます。

子どもたちを取り巻く環境では、『さんま(三間)』と言われる「仲間」「空間」「時間」が不足していると言われており、昔のコミュニティも崩れ、子どもたちが、安心してのびのび遊ぶ「さんま」が足りていません。私自身、2人の小学生の父親です。悩みつつ、どのようになったら子どもたちは幸せな状態だろうか?と考えています。

悩んだり、迷いながら子育てをしている保護者の方々に向けて、家庭、学校、地域が相互連携し、家庭教育に関する情報や学習機会を提供したり、サポートする体制の構築を目指したいと思います。

この他にも、取り組むべき課題がたくさんあり、まだまだ勉強の日々が続きますが、さまざまな課題に対して、より具体的に取り組みが進むように、府民の皆さんとの視点に立った意見を伝え、提案できるよう頑張っていきます。

府民の皆さんとの視点に立って、府民の皆さんとの声を府政に届けられるよう全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



京田辺市、井手町、宇治田原町を笑顔でイキイキと暮らせる地域にするために「革新」と「挑戦」で取り組みます。

京都府議会議員 北川 剛司

